

徳島県におけるスポーツの現状

平成29年7月20日

政策創造部総合政策課

■三大国際スポーツ大会

2019

ラグビーワールド
カップ日本大会



2020

東京オリンピック・
パラリンピック



2021

ワールドマスター
ズゲームズ関西

■徳島県教育大綱

○確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成

- ・「知徳体」が一体となった成長を支援

○国際舞台で躍動するアスリート、アーティストの育成

- ・世界で活躍する「スポーツ王国とくしま」づくり

【本県開催競技】

- ・ゴルフ(徳島市, 鳴門市,
阿波市, 神山町)
- ・ボウリング(徳島市, 石井町)
- ・ウエイトリフティング(鳴門市)
- ・カヌー(那賀町)
- ・トライアスロン(美波町)
- ・アクアスロン(美波町)
- ・マラソン
- ・サーフィン
- ・ラフティング

(デモンストレーション競技)

将来性、潜在能力の高い人財を発掘し、トップレベルの競技者へと育成するため、ジュニア期からの一貫した指導やスポーツ医・科学を活用した集中的な育成、トップスポーツ校による重点的な競技力の強化、有望選手への支援など高等教育機関や企業との連携を図りながら各種支援策を積極的に展開し、2020年東京オリンピック・パラリンピックへ、本県からアスリート輩出を目指します。

■ 本県の現状

1 生涯を通じたスポーツ活動の推進 ～健やかな体の育成～

子どもの体力・運動能力

○ 小5、中2のアンケート

△「スポーツが好き、大切」等は概ね全国平均を上回る
▼1週間の運動時間(授業外)は平均以下

○ 小5、中2の運動能力

【H28年度】

▼小5男子:34位 小5女子:35位
▼中2男子:30位 中2女子:30位

△調査開始時(8年前)と比較して改善

【H20年度】

〔 小5男子:46位 小5女子:36位
中2男子:38位 中2女子:37位 〕

生涯スポーツの振興

○ 総合型地域スポーツクラブ

△市町村設置率91.7%(22市町村34クラブ)
(全国80.8%)

・会員数 H25:8,640人 → H28:9,341人
・軌道に乗っているクラブとそうでないクラブの二極化

△成人の週1回以上スポーツ実施率:47%
(全国42%)

・実施率は近年50%前後で横ばい

○ とくしまマラソン

△四国最大規模のフルマラソン(H20～)

・H29:第10回記念大会
・H20:3,000人規模 → H29:15,000人規模

〔 ※参考:糖尿病死亡率ワースト1脱却
H26:41位, H27:43位, H28:40位 〕

2 競技力の向上 ～国際舞台で躍動するアスリートの育成～

全国競技大会の成績

○中学、高校

▼H28全国中学校体育大会入賞数

- ・団体:0、個人:4(計4は10年間で最少)
- ・ベスト4以上は団体、個人とも0

▼H28全国高校総体入賞数

- ・団体:2、個人3(計5は10年間で最少)
- ・ベスト4以上 団体1、個人1

△H27までは入賞数は順調に推移
H24:8、H25:11、H26:16
H27:20

○国体

▼天皇杯 H28岩手国体:46位 (3年連続46位、H19新潟国体は40位)

- ・ウェイトリフティング、ライフル射撃等コンスタントに得点獲得
- ・団体競技での入賞が少ない

鳴門渦潮高校

○県内初のスポーツ科学科(スポーツリレーディングハイスクール)

△H28県高校総体

- ・団体優勝
女子サッカー、男子バスケット、ウェイトリフティング
- ・個人優勝
陸上競技(4種目)、柔道(2人)、
ウェイトリフティング(4人)

△H28国体

- ・陸上(円盤投げ)、ウェイトリフティング:6位入賞

大規模スポーツ大会

○県内の機運醸成

△大規模スポーツ大会の開催誘致

- ・西日本ソフトテニス選手権大会(H27)
- ・全日本大学生ハンドボール選手権(H28)
- ・ラフティング世界選手権(H29)
- ・ウェイクボード世界選手権(H30) 等

競技環境

○スポーツ施設

▼三大国際スポーツ大会に向けた施設整備が急務。

- ・ポカリスエットスタジアム(S46)→J1仕様に改修
- ・オロナミンC球場(S48)→照明をプロ仕様に改修中
- ・JAバンクちよきんぎょプール(S48)

○県内大学との連携

△ 高校卒業後引き続きスポーツ活動ができる環境へ

プロスポーツの定着

○徳島ヴォルティス

- △ Jリーグ加盟(2005～)
- △ J1参戦(2014シーズン)

○徳島インディゴソックス

- △ 四国アイランドリーグ加盟(2005～)
- △ 独立リーグ日本一(2014シーズン)

オリンピック・パラリンピック

(2000年以降 県関係者)

○出場選手数

2016 リオ	8人	2012 ロンドン	6人
2008 北京	9人	2004 アテネ	8人
2000 シドニー	9人		

○メダリスト

- ・松友美佐紀
2016 リオ 金(バドミントンダブルス)
- ・柴田亜衣
2004 アテネ 金(800m自由形)
- ・源 純夏
2000 シドニー 銅(400mメドレーリレー)
- ・藤本 聡
5大会で金3、銀1、銅1(柔道)
- ・正木健人
2012 ロンドン 金、2016 リオ 銅(柔道)